

## 平成 28 年度防災士表彰受賞者一覧

[防災士特別功労賞] 副賞 30 万円

日本防災士会熊本県支部殿

功 績	平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震の翌日より、自ら達も被災者でありながら、日本防災士会九州ブロック連絡協議会と連携して、震源地である熊本県益城町に於いて仮設テントによる災害対策本部を立ち上げ、2 ヶ月に亘って全国から駆け付けたボランティア防災士や多数の支援者を受け入れる受援体制を構築し、防災士の被災地支援活動に多大な貢献を行なうなど、他の模範となる多大な功績があった。
-----	---

[防災士功労賞] 副賞 10 万円

青木信夫殿

功 績	自費調達による「起震車」等を駆使して、永年にわたり防災啓発の実践を全国各地で展開しており、これまで起震車で体験者は一万人を越すなど、防災士としての防災啓発活動は極めて顕著で、他の模範となる多大な功績があった。
-----	--

半田亜季子殿

功 績	新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオ等にかず多く出演し、その精力的多彩な活動は鮮明。特に「家庭の防災知識」の普及に活動。メディアを通じて防災士の知名度の向上と防災士の活動周知に尽力され、他の模範となる多大な功績があった。
-----	---

東北福祉大学防災士協議会殿

功 績	現役大学生による最大の規模の防災士集団で、日常の活動において大学の特色を活かした防災士による地域社会貢献活動をかず多く行ってきた。また防災士資格取得者に対する、更なるスキルアップ研修を積極的に企画・実施して成果をあげる等、他の模範となる多大な功績があった。
-----	--

## 日本防災士会兵庫県支部殿

功 績	日本防災士会でも最大級の活動実績をあげている県支部であり、平時の備えの訓練も積極かつ充実、災害時のボランティア活動も多くの実績とともに高い評価を挙げている。また、地域自治体や全国の防災士と連携した活動は顕著なものがあり、他の模範となる多大な功績があった。
-----	---

## 松山市高浜地区自主防災連合会殿

功 績	松山市の防災士養成実績は、多年にわたり全国の自治体において最大数を堅持している。その中核集団のひとつとして、会員の中に現役防災士の祖父・父・子三代の防災士を擁して、老・壮・青の世代間の役割りを啓発するなど、重層的訓練と活動は全国的にも注目され、他の模範となる多大な功績があった。
-----	---

(順不同)